

平成 17 年 12 月 15 日

各 位

会 社 名 アルフレッサ ファーマ株式会社
代表者名 代表取締役社長 久禮 哲郎
問合せ先 経営企画部長 吉村 裕之
(TEL: 06 - 6941 - 0383)

**アルフレッサ ファーマ株式会社は
ペンタックス株式会社開発の『手術用偏向ルーペ』の販売契約を締結致しました**

アルフレッサ ホールディングス株式会社の完全子会社で、医薬品等製造事業を行うアルフレッサ ファーマ株式会社（以下「アルフレッサ ファーマ」）は、ペンタックス株式会社（以下「ペンタックス」）が開発した『手術用偏向ルーペ』の日本国内での独占販売契約をペンタックスと締結し、販売を開始致しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 独占販売店契約締結に至った経緯

アルフレッサ ファーマは、医薬品・診断薬・医療機器の3分野にわたる幅広い製品を製造・販売する医療メーカーです。同社の医療機器部門は、手術用縫合糸の製造販売を中核事業として、大学病院及び急性期医療を担う地域中核病院の外科系診療科を中心に活動しております。

今回の契約締結によりペンタックスの製品開発力とアルフレッサ ファーマの販売力を結びつけることで、ペンタックスの付加価値のある外科手術関連製品を先生方にご提供することが可能になります。アルフレッサ ファーマは経営理念に掲げております Unmet Medical Needs（いまだ満たされていない潜在的な医療ニーズ）に積極的にチャレンジし、あらゆる人々の健康に貢献することができるものと考えております。

2. ペンタックス開発の『手術用偏向ルーペ』

外科手術の際に手術者が術部を拡大して見る（拡大視）ために使用するケプラータイプの眼鏡型ルーペで、ペンタックスのカメラで培われた技術を応用し、プリズムを大きくした独自の光学設計を採用することにより、以下の特長を備えた製品です。

48度のプリズム光軸偏向により、術者が自然な姿勢を保ち術野の拡大視ができるので、長時間の手術による術者にかかる頸椎疲労が軽減されます。

その日の眼の状態に合わせてピント調整ができます。また、拡大視線は常時ストレスの少ない平行視状態を保ち、眼球を下転するだけで拡大視から等倍視（実際の大ききで見ること）の切り替えが楽にできるため、術者にかかる眼精疲労が軽減されます。

独自の光学設計・仕様により、従来品と比較して『広く明るい視野』を確保できます。また、術中自然な姿勢が保てるため術者の頭部で無影灯を遮ることなく、常に明るい術野が得られます。

3. 今後の展開

アルフレッサ ファーマの医療機器部門は、手術用縫合糸を中核製品として外科系診療科、特に心臓血管外科、消化器外科、形成外科を中心とした活動を展開致しております。同部門は、今後ペンタックス偏向ルーペを重要製品のひとつと位置付け、その販売を通じて医療に貢献してまいります。

4. 販売目標額

初年度 100百万円を目標とし、3年後 300百万円を目指します。

5. アルフレッサ ファーマの概要

設立年月：昭和14年12月

本社所在地：大阪市中央区石町二丁目2番9号

代表者：代表取締役社長 久禮 哲郎

資本金：1,000百万円

売上高：20,881百万円（平成17年3月期、連結）

従業員数：637名（平成17年3月末現在、連結）

事業内容：医薬品、診断薬、医療機器、医薬品原材料等の製造・輸出入・販売

売上高は、アルフレッサ ホールディングス株式会社（連結）における医薬品等製造事業の数値です。

以上